

教育目標「学び合い 高め合い 共に伸びる子」



佐渡市立七浦小学校

学校だより

令和4年6月30日発行

新潟県 佐渡市立

七浦小学校



No. 4

♪ 来られる時 に来られる方 から さわやか あいさつ うらら ななうら ♪

毎月7日に開催！7:40～8:00 玄関前でお待ちしています！

## 地域の宝 子どもたちのために

校長 高橋 健

4月に赴任して早くも3か月が経ちました。この間、保護者や地域の皆さんとの触れ合いを通して、子どもたちや七浦小学校へのたくさんの思いを伺うことができました。

毎月7日の「おはようらななうらデー」では、保護者、人権擁護委員、民生委員・児童委員、駐在所巡査の皆さんから挨拶運動に参加していただいています。子どもたちの登校を待つ間、七浦小学校に通っていたころのことを伺ったり最近の七浦小学校の様子をお伝えしたりして会話が弾みます。子どもたちが登校してくると挨拶を交わしながら、笑顔で子どもたちを見守ってくださいます。

6月9日の長手岬清掃では、保護者ボランティア、地域の方からもご協力いただきました。ゴミ拾いをしながら、長手岬で行った子ども会のイベントのことや長手岬周辺の変化のことなどを伺いました。

6月10日の150周年事業実行委員会では、正副実行委員長、各正副部長、PTA役員の皆さんからお集まりいただきました。初回なので150周年を記念するためのアイデアを出し合うことを中心に行いましたが、過去の130周年、140周年の資料も参考にしながら、活発な話し合いが行われました。

6月17日の七浦地区青少年健全育成協議会では、会長、北教育事務所、民生委員・児童委員、地域コーディネーター、各地区総代・区長、駐在所巡査、子ども会代表、相川中PTA関係者、PTA役員、稲鯨保育園関係者の皆さんから出席していただきました。今年度の事業計画の話し合いを中心に行いましたが、特に「七浦地区夏祭り」の実施について参加者お一人お一人から率直な意見を出していただきました。その中で、印象に残っているのが、「子どもたちにとって」とか、「子どもたちのために」という言葉でした。

一連の触れ合いをとおして、私が感じたのは、「子どもたちは地域の宝である」という共通の思いです。これは、150年前の開校当時から現在まで連綿と続いている保護者、地域の皆さんの思いです。縁があって、今、七浦小学校に勤務している私たち教職員もその思いを共有しながら、1日1日を大切に教育活動に取り組んでまいります。